

【 第20回女子ジュニア世界選手権 】

2016年 7月 3日 ~ 17日

ロシア ・ モスクワ

試合結果報告 7 月 7 日 (金)

JAPAN	VS	RUS
9	前半	18
14	後半	25
	第一延長	
	第二延長	
23	合計	43

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	中野 智佳			0
2	藤田 明日香		2	2
3	三橋 未来		2	2
4	高杉 桃加			0
5	河原畑 祐子			0
6	和田 涼夏			0
7				0
8	斗米 菜月	2	1	3
9				0
10	伊地知 美姫			0
11	登川 愛			0
12	神谷 怜名			0
13	山口 絵梨香	1	1	2
14	眞方 彩帆	4	1	5
15	澤井 咲良			0
16	大沢アビ直美			0
17	青 麗子	1	4	5
18	渡部 真綾	1	3	4
	合計	9	14	23

試合結果

戦評

優勝候補地元ロシアとの一戦は、序盤ワイドに展開するオフェンスで狙い通り、間のスペースを広げ、斗米のカットインやサイドへのずらしが有効に機能した。眞方の速攻も飛び出し開始7分3-3と互角の立ち上がりを見せた。しかしここから日本オフェンスが淡泊になり、逆速攻で4連続失点となってしまった。その後もロシアの力強い速攻を守り切れず、16分4-12とされてしまった。OFではアウトにずらすのが精一杯で、眞方がサイドから良くゴールするも点差は詰められず、9-18と大量リードされてしまった。

後半に入り、4-2DFシステムを試行するも、ロシアの大きな揺さぶりやポストプレーで確実に攻略されてしまい、開始早々3連取されて9-21となってしまった。35分過ぎ藤田のサイドやカットインで反撃しようとするも、逆速攻・ロング・ポスト・サイドとすべてにおいて優位にたたれ失点を重ねた。

また44分すぎにこの試合までずっと好調をキープし、全試合スターティングメンバーとして活躍してきた眞方が、速攻で得点をとるも負傷退場となり、日本チームとしては大きな痛手となった。

DFではGK大沢が孤軍奮闘しスーパーセーブを重ね、オフェンスでは手渡しプレー等のコンビにより有効に攻略するも、それもコンスタントに出せなかった。シュートも長身GKをかわせず、終盤に三橋や渡部のスピードプレーで一矢報いるも23-43で完敗。

報告記入者 :

岡本 大